

## 高野山印刷産業人納骨塔奉讃会 慰霊祭・追悼法要を厳修

高野山印刷産業人納骨塔奉讃会(吉田忠次会長)主催(協賛:大阪印刷関連団体協議会)による恒例の「新物故者慰霊祭並びに納骨者・業界物故者追悼法要」が8月22日、高野山大霊園 大阪印刷産業人物故者納骨塔前において厳修された。

今年は高野山開創1200年にあたることもあり、関連団体代表者をはじめ、遺族、一般参拝者など、例年を大幅に上回る約200名が参拝に訪れ、納骨塔内で安らかに鎮まる故人の冥福を祈るとともに、遺族の安泰と印刷・関連業界の加護を祈願した。



## 川面を眺めながらのビアパーティ 90名が親睦深める 「マイナンバー講習会」も

近畿印刷産業機材協同組合(加貫順三理事長)は8月28日、大阪・中央区の大阪



▼ビアパーティ会場

▲講習会の会場



キャッスルホテル内「中華料理 錦城閣」において恒例の交流ビアパーティを開催。組合員及び組合員企業の従業員らおよそ90名が出席し、親睦を深めた。

会場では、夏の夕暮れに映える大川の川面を眺めながら、ビール片手に組合員企業の従業員同士が歓談する場面も見られ、和やかなムードのもと、参加者は暑い夏の夜のひとときを楽しんだ。

なお、当日は「マイナンバー講習会」として、講師に社会保険労務士の福西綾美氏を招き、制度開始直前の対策から実務対応のポイントなどを中心に学んだ。

## 大阪印刷関連・大印工組 没後140年「本木祭」開催

大阪印刷関連団体協議会並びに大阪府印刷工業組合は9月3日、大阪・四天王寺境内に建立している我が国近代印刷の創始者である本木昌造翁の銅像前において、「本木祭」を厳かに開催した。

没後140年を迎えた今年、本木昌造翁の曾孫にあたる森賢治ご夫妻と、本木昌造翁が5代友厚の援助を得て開設した「大阪活版所」の初代社長である谷口黙次氏の曾孫にあたる谷口晴彦氏を迎えた。

当日は在阪印刷および関連業者多数の参列のもと、厳かな読経の中で大阪印刷関連団体協議会の吉田忠次会長(大阪府印刷工業組合理事長)から祭文が読み上げられ、発展を遂げた近年の業界動向を報告した上で、改めてその偉業に感謝の意が示された。



## 恒例のゴルフコンペ 優勝は吉川悦正氏(吉川機械器具)

組合員交流の場として恒例となった「ゴルフコンペ」が10月28日、奈良の飛鳥カンツ

リー倶楽部において開催され、14名が参加した。

競技方法はダブルベリア。優勝は吉川機械器具(株)の吉川悦正氏(OUT51、IN40、GROSS91、NET71.0)で、ベストGROSSは高橋龍男氏(ケイズカンパニー(株)、OUT45、IN30、GROSS84)。



▲優勝の吉川氏(右)



## 古希以上の長寿を祝う 大阪天満宮で「長寿会」



大阪印刷関連団体協議会は11月6日、大阪天満宮において秋恒例の「長寿会」を開催。13名が参加した。

長寿会は、古希(満70歳)以上の大阪印刷・関連業界人を招いて長寿を祝うとともに、これまでの業界発展への功績に対して敬意を捧げ、健康で豊かな老後を有意義に過ごせるよう祈願する恒例の行事。昭和43年に「明治会」として開催されて以来、今回で48回目を数えた。

秋晴れとなった当日は、大阪天満宮において長寿祈願神楽奉納、記念写真撮影が行われた後、天満宮表門前の「相生楼」において懇親宴が催された。